

2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 31 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|--------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名 | 空間構造における連成・接触問題小委員会 | | 主 査 名：濱本卓司 就任年月：2016 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会) | | 委員長名：塩原 等 主 査 名：竹内 徹 |
| 設 置 期 間 | 2016 年 4 月 ～ 2020 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>周囲を取り巻く媒体（地盤、水、空気）と構造物との連成・接触問題に関して新たな力学問題の解明と構造設計への活用を目指す。</p> <p>初年度：4 年度に「連成・接触問題の考え方と扱い方」を刊行することを目標に刊行物の内容を検討し、課題を整理してシェル・空間セミナーを担当・開催する。</p> <p>2 年度：目次案を決定し、執筆を始め、年度末に 1 次原稿をまとめる。</p> <p>3 年度：1 次原稿を読み合わせ、ブラッシュアップして 2 次原稿を作成する。</p> <p>4 年度：2 次原稿の最終調整を経て、書籍を刊行する。</p> | | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：無 (刊行物執筆中は公募しない) | | |
| | 主査：濱本卓司 (東京都市大学) 幹事：遠藤龍司 (職業能力総合開発大学校), 近藤典夫 (日本大学) 委員：磯部大吾郎 (筑波大学), 大嶋正巳 (千代田化工建設), 柴田良一 (岐阜工業高等専門学校), 高野真一郎 (大林組), 登坂宣好 (元日本大学), 福住忠裕 (元神戸大学), 松井徹哉 (名古屋産業科学研究所), 山田貴博 (横浜国立大学) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | | |
| 2018 年度予算 | 80,000 円 | ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：— | |

| 項 目 | 自己評価 |
|--|--|
| 委員会開催数 | 4 回 |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 刊行物の執筆を行い、シェル・空間構造運営委員会での査読が終わり、原稿の承認を得た。出版計画は予定通りに進んでいる。 2. 現時点で構造本委員会の査読が行われている (3 月下旬査読終了予定)。 |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 特になし |